

令和元年度東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議

会議録 概要

日時：令和2年2月17日（月）
午後3時00分から4時10分まで
場所：役場1階 第1会議室

出席者：神頭座長、川村委員、近藤委員、黒川委員、高岡委員
事務局：企画部長、企画情報課長、企画政策係長

○ 次第

- 1 あいさつ
- 2 第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
- 3 意見交換
- 4 その他

開会

- 1 あいさつ
企画部長あいさつ
- 2 第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
（資料に基づき事務局から説明）

3 意見交換

【座長】

合計特殊出生率等の違いで将来人口のシミュレーションがされており、分かりやすく整理されていたと思う。全体を通してご意見があればお願いしたい。

【委員】

東郷町として、どれくらいまでの人口を目指し、また、何を売りに町を作っていこうとされているのかをお聞きしたい。様々な目標が掲げられているが、財源も気になるところである。財源を担う産業界としては、工場周辺が住宅地に変わり、環境が厳しくなってきた。町外へ出られる事業者もいらっしゃる。若手の方が増えて、人口が増えると、町民税が増えるというメリットはあるが、人間なので終わりがある。これまで支えてきた人が、支えられる側になる。その点、企業は永久とは言わないが、確保できると思う。基本的にはバランスが取れた町がよいと思っているが、町としてどう考えているかをお聞きしたいと思う。

【事務局】

人口については、本町の現状推計（参考資料2 独自推計①）が最新の推計である。国の少し前の推計では現時点がピークであったが、本町の推計ではピークがもう少し後になる。ただし、人口のピークであり、その後人口は下がっていき、おそらく高齢化率も上がっていくと見

込んでいる。今回の人口ビジョンでは、人口が減少していくという傾向を変えるのは難しいが、その中でも少しでも変えていきたいと考え、目指すべき人口ということで、伸び率がやや少ないケース①と伸び率がやや高めのケース②を算出した。目標としてはケース②を採用しているが、いずれは人口が下がっていくことが見込まれる。これは、あくまで目指すべき人口ということで、合計特殊出生率の上昇は厳しいと認識している。国が目指す人口を受け、県や各自治体が目標人口を設定していく中で、本町ではケース②を目指す人口としている。

【委員】

市になる条件に近いところまできているが、それをどうするのか。日進市や長久手市は村から町、そして市になってきている。東郷町と何が違うか。それぞれの特徴があると思うが、周りが市になっている中で、東郷町はどうかと思い質問させていただいた。

【事務局】

目標人口を達成するため、具体的にどんなことを推進していくかについては、総合戦略で触れているが、地域の活性化と人口減少の抑制の大きく2つを目指す内容になっている。どういった町にしていくかという部分と、企業が町から出ていくという話がある中で、総合戦略では働く場所（仕事）をつくるということを大きなテーマの一つとしている。ただし、就業地と居住地がマッチしない部分もある。居住地でなくても通勤範囲内であればよいという考えもある。住んでいる人が住んでいる地域で仕事に就くということはなかなか難しい。ただ、そういった中でもある程度、良好な住宅地と仕事（企業）ができる地域を分けてやっていきたい。

出生率を上げていくとなると、若い世代の結婚・出産の支援が中心になる。

【委員】

セントラル開発の人口増は、どのくらいの社会流入を何年間見込んでいるのか。

【事務局】

エリアの計画人口として示されているのは2,400人となっている。ただ、土地区画整理事業は終わってすぐに計画人口が張り付くものではない。また、計画人口はあくまでも計画人口と考えている。そのため、計画人口の2,400人をベースに土地区画整理事業におけるビルドアップ率を考慮して、2060年までの人口の張り付きを約1,800人と見込んでいる。それ以上に増えればより良いと考えている。

【委員】

より便利で魅力ある町になるということで、2,000人でも5,000人でもたくさん集まれば非常に喜ばしいことだと思う。

総合戦略について、セントラル開発がスタートするというタイミングと重なるわけだが、数値目標等をご説明いただいたが、前回の横スライドというイメージがある。私も近隣に住んでいるが、そのインパクトたるや相当なものだと思っている。例えば東郷町の商業販売の売り上げが全部で500億くらいだと思うが、ららぽーとができることで倍以上の小売市場ができる。買い物に来る人が増えるので、東郷町にとってはこれまで人口増を続けてきた良い流れをさらに勢いづけるチャンスだと思う。その中でより町を魅力あるものにしていく施策に対して、もう少し強気の数字（目標値）を出してもよいのではないかと。例えば、町内従業員数の目標値はもっと増えてもよいと思う。

基本目標4「魅力的な地域をつくる」において、東郷町の課題の一つである交通利便性の課題が新規追加されたのは非常によいことだと思う。交通については、駅を作るのは難しいと思うので、周辺市町に先駆けて、Maas等で例えば新しい交通網を作るなど、令和6年まででは難しいと思うが取り組めるとよい。まさに変革期でチャンスに置かれている東郷町の取り組むべきテーマ・目標に対し、よりフィット感が出てくると思う。

【座長】

ららぽーとから赤池駅へバスを出すといった交通計画はあるのか。

【事務局】

現状を踏まえて来年度、地域公共交通網形成計画を見直す。

新たなモビリティサービスの活用の具体的な施策についても、現状で大分進んでいる。ただし、短い期間でどこまでできるかというところで、数字を織り込むのは難しい。時代の流れを踏まえ前向きに研究しているので、ご承知おきいただきたい。いただいたご意見は、もう一度見つめ直して計画に反映できるところは見直していきたい。

総合戦略P12の町内従業者数の2,000人増は、ららぽーとを見込んだ数字になる。実際にどの程度になるかは分からないが、短期間でも2,000人という数値は見込みたい。

【委員】

東郷町の教育の取組姿勢は、非常に前向きであると捉えている。現状では、保育園や小学校等における教職者の確保が難しいと感じている。なおかつ多国籍で多様な働き方であり、中国や韓国、ブラジルの方が多い。豊明では専任のポルトガルの先生を雇っていると聞いた。子育て支援に惹かれて東郷町に転入される方は多いので、その点に力を入れていただければと思う。

ららぽーとの整備が進んでいるが、インフラについて気になっている。LEDや防犯灯の設置は毎年のようにやっていただいているが、子どもたちが安全に通学できるようにもう少しインフラ整備に力を入れていただきたい。

【事務局】

東郷町には1,300人の外国人が在住し、増加傾向にあり、最低限の対応は行っている。一方で、首長は幼児期からの英語教育に力を入れており、来年度からの新規施策として、全保育園で2人の外国人教員を配置し、幼児期から英語に親しんでもらうという取組を行う。

新たな視点で「多様な人材」というフレーズがあったが、外国人も含まれているので、今後はそちらの対応を十分にしていかなければならないと考えている。また、多様な人材には高齢者・女性・障がいのある方も含まれるので、幅広くカバーしていきたい。

インフラ整備に対してもセントラル開発の周辺整備はもちろん、ご指摘のあった防災・防犯対策についても継続してやっていきたい。

【委員】

各基本目標の中に「とうごうチャンネル(PR動画)」の再生回数に関する実績値が出ている。目標値に対してかなりかけ離れているという状況である。現段階での実績値に対する評価と、あるいは今後の取組についてどのように考えていらっしゃるのか。構想に関しては弊社でも考えてやっていきたいと思う。

【事務局】

前回の第1期では、国の補助金を活用して「とうごうチャンネル」に取り組み出したときであったため、積極的に文言を盛り込んだ。毎年度の検証会議でも話は出たが、情報発信・PR動画は出た時が再生回数のピークであり、その後数字は落ちていく。町外へ発信する、いわゆる町を紹介する動画はある程度固定でよいと思うが、最近の「とうごうチャンネル」は、地域の特徴のある方や町の施策を積極的に紹介していくという、どちらかといえば町外よりも町内の人に町がやっていることを紹介していくという視点を強めている。

第2期では総合戦略P16に「シティプロモーションの推進」という形で入れている。「とうごうチャンネル」だけでなく、それ以外のチャンネルツールを含めて町の魅力を発信していきたいと考えている。もちろん、それを受けて転入者が増えればよいが、むしろ今いる方に対してより定住・Uターンを促す1つのツールになればと考えている。再生回数も大事だが、より中身で見ただけのものにしていきたい。「とうごうチャンネル」以外でも町の取組を発信していけるように考えていきたい。

【委員】

「見にいけばこういった情報が得られる」というPR・告知が必要だと思う。知らない方もたくさんいるので、その点は課題だと思う。

【座長】

例えば人口の流出入に関しては、東郷町では日進市を除けばほとんど周辺から来ている。日進市の方に人口が転出する傾向があるということは、日進市の方へ情報発信した方がよいのか。

人口は、産業基盤の整備、セントラル開発の計画、交通ネットワークの整備等様々な要因の影響を受ける。総合戦略を見ると、保育関係に力を入れられている。欲を言えば、これは東郷町に限った話ではないが、例えば地産地消で活性化していくことと、ららぽーとで何かもの売るということはトレードオフの関係になってくるので目標値が矛盾しているような気もする。巡回バスについては、高齢化社会なので利用されている人は多いと思う。

【事務局】

巡回バスについては、来年度の再編に向けて取り組んでいる。そのためにアンケートを実施し、利用しやすい運行本数（1時間1本）やルート等をどうしたらよいかを検討している。例えば、東郷町から藤田医科大学への要望があれば何とか組み込みたいと考えているが、全体を見直しながら一番良い方法を導きたい。全ての人が満足する形は難しいが、ニーズを取り入れながら再編を考えていく。また、高齢者の方々にとっても利用しやすいようにしていきたい。

【座長】

東郷町の中でも、白土の辺りは赤池にも近く便利だが、みよし市に近い東部の辺りは駅まで結構歩かなければならない。

【事務局】

既存のバス路線とも協力しながら、例えば名鉄バスにつなげるハブのようなものができればと考えている。1本で全てを賄うのは難しいので、上手く利用できるようにしていきたい。

【委員】

じゅんかい君には GPS 機能は付いているか。

【事務局】

GPS 機能は付いていない。例えば、「今、バスがどこを走っているか」や「あと何分で着くか」といった情報が出てくるとよいと思う。

ららぽーとへのバスの乗り入れについても、渋滞やダイヤといった関係もあるので、メリット・デメリットを勘案しながら再編を検討していきたい。

【委員】

運行状況やバスの位置情報については、スマートフォンで情報を得られる人は多い。しかし、高齢者をはじめ、スマートフォンを使わない人の情報収集手段についても検討された方がよいと思う。

テレビ放送を通じて情報を得ることもできると思うので、高齢者の方の情報源として微力ながらフォローできればと思う。

【委員】

人口ビジョンを見ると、町内の農業者の減り方が、商業者・工業者に比べて大きい。総合戦略 P14 では「地産地消による農業の活性化を目指す」と示されており、三位一体となって、農業が活性化するように協力していければと思う。商工会も生産物を加工した特産品開発に挑戦している。商品開発をしても、市場に出た時には厳しいものがあるが、長い目で見て、粘り強く色々な方に応援していただければと思う。

【事務局】

農業は大きな問題であると認識している。就農者の問題や特産品開発、地産地消に関しては既に取組を始めている。農協とも何度も協議を重ねて進めているところである。米を例にすると、無農薬米等、東郷町の米がクローズアップされるためにどのような方法がよいか等を研究している。販売の方では商工会の力を借りなければできないので、三者が一体となって東郷町がどういう道を進んでいくかを考えていきたい。

情報発信力に関しては、新技術を活用した取組として、本町では LINE Pay を使った取組を他の団体に先駆けて行っている。来年にはスケールアップして活用の幅を広げていきたいと考えている。それぞれの立場でご意見をいただいて、今後も東郷町の発展のためにご協力いただきたい。

【事務局】

本日いただいたご意見を踏まえて、町長を本部長とする推進本部会議にかけさせていただきます。

以上